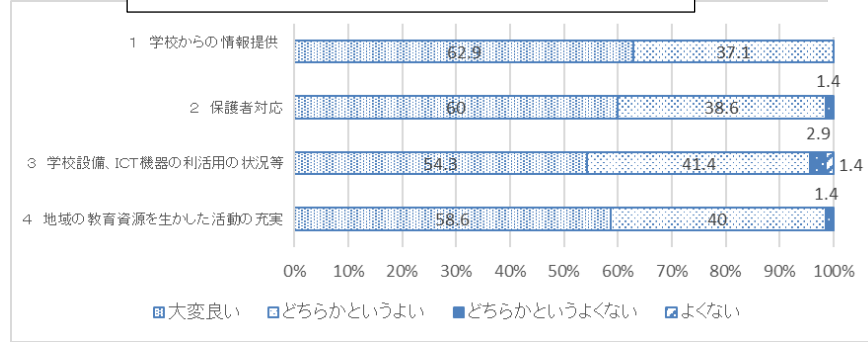


学校運営に係る保護者による学校評価の結果



学校の運営に係る保護者による評価は、どの項目においても達成率(肯定的評価は、90%以上の値を示しており、概ね満足を得ている結果となりました。

しかし、「3 学校設備、ICT機器の利活用の状況等」の項目においては、「よくない」の評価 1.4%の値を確認しており、「どちらかというよくない」の評価の値を合わせると 4.3%となり、改善の余地があると判断しました。特にICTの利活用は国の動静から早急な対応が必要で、さらに教育活動において充実させていく必要があります。



学校教育目標 <心を耕し 根っ子を育む ~挨拶、姿勢、認め合い~>

健康で明るい子



心豊かで思いやりのある子

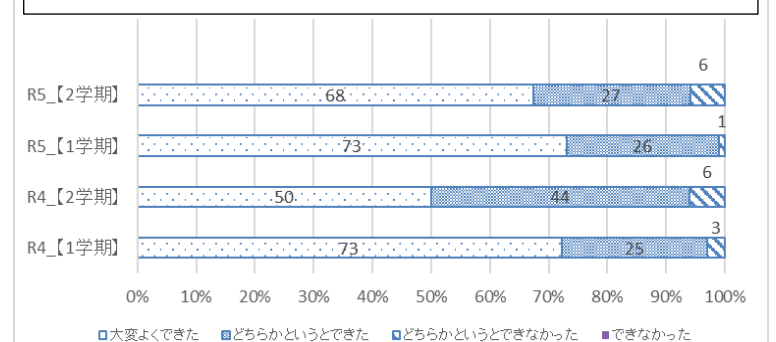


よく考え最後までやり抜く子



知識及び技能	▶心と体の健康を保つための方法を考え判断し、健康で安全な暮らしを送ろうとする。 ▶時と場をわきまえてあいさつをすとも、に、礼儀正しく明るく生活する。	▶自他の命や体が生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、大切にしようとする。	▶物事に関連付けて深く理解するとともに、状況に応じて活用できる技能を身に付け、問題を解決に生かす。
思考力、判断力、表現力等	▶震災・津波の経験を踏まえ、危機を予測して自他の命や体を守るとともに地域のためにできることを考え、活動に進んで参加する活動に参加する。	▶よりよい判断にしたがって、自分の考えを伝えるとともに、謙虚に広い心で、自分と異なる考えや立場を尊重する。(認め合い)	▶順序立てて考えるとともに、多様な考えを理解し、自分の考えを広げたり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えたりする。
学びに向かう人間性等	▶生活や学習について、より高い目標をもち、自己に合った解決方法を決め、ねばり強く努力し続ける。	▶自他の思いや立場を調整し、互いにかげがえない存在として、よりよい人間関係を形成しながら学校生活の充実と向上を図ろうとする。	▶自己の学びの価値を振り返ったり、次の学びにつなげたりしながら主体的に学ぼうとする。

相手にとどく元気なあいさつや返事ができましたか。(経年比較)



「あいさつ」に係る取組において、経年変化から窺えることとしては、90%以上の達成率から概ね満足が得られる結果となっています。

しかし、子ども達の自己評価から挨拶については、積極的肯定評価に伸び悩みが見られ、2年間とも2学期では、低い値を示しています。相手や時と場に応じた挨拶は、望ましい人間関係や社会で求められる資質・能力として必須であり、義務教育課程において必ず身に付けさせたい礼儀です。この所作は、学校だけでは身に付けることはできませんので、家庭や地域と一体となって育んでいきたいと考えています。

目指す姿	学校の取組	家庭の取組	地域の取組
健康で明るい	<ol style="list-style-type: none"> 【生活の基本の確立】 相手や場に応じた挨拶や返事を習慣化させます。 【健康な生活づくり】 保健指導や食育指導を通して、元気に登校する子どもを育てます。 【健康な体づくり】 めあてをもって体力づくりに取り組ませながら、運動習慣を育みます。 【安全指導の徹底】 避難訓練や防犯、防災教室等を実施し、自分の命を守ることができる子どもを育てます。 	<p>【生活習慣づくりのために家庭で取り組むこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 相手や場に応じた挨拶や返事をすることを促します。 歯磨き、手洗い、早寝・早起きを促し、生活リズムを整えます。 徒歩通学を促し、粘り強く取り組む心を育みます。 	<p>【安全な地域づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもたちが安全に生活したり、元気に学校に通ったりすることができるように見守ります。(見守り隊の活動等) 不審者から子どもたちを守るため、助けを求められた時は、安全・安心な居場所を提供します。
心豊かで思いやりのある子	<ol style="list-style-type: none"> 【活動の充実】 認め合いや助け合いを大切にしながら、思いやり協力する心を育みます。学級、異年齢集団活動(縦割り掃除、集団登校)、学校行事等 【規律ある生活づくり】 学校生活のきまりを守り、みんなのことを考えて生活する態度を育みます。 【読書活動の充実】 本に親しませる機会を設定し、豊かな心を育みます。 【教育相談の充実】 一人一人の言葉に耳を傾け、子どもの困っていることや不安を早期に発見し、素早く対応します。 	<p>【心づくりのために家庭で取り組むこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもの話をよく聞き、言葉遣いに気をつけた生活を心がけます。【会話のコツ】会話の時間を作り、目を見てゆったり、共感してほめる。 週末読書や親子読書に取り組み、考える力や心を耕します。 「リクタカルール」をもとに、メディア機器の使い方のルールを親子で話し合ったり、ルールを振り返ったりします。 	<p>【心の通ったコミュニティづくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 登下校時には、積極的に子どもたちに声を掛け、つながりをもつようにします。 <励ましの声の例> ・「がんばって歩いているね。」・「交通ルールを守っているね。」 ・「元気に学校に通っているね。」 ・「気持ちのいいあいさつだね。」
よく考え最後までやり抜く子	<ol style="list-style-type: none"> 【一人一人を伸ばす授業づくり】 「わかる」「できる」を感じさせ、一人一人の資質・能力を伸ばします。 【学びの基礎づくり】 朝学習やチャレンジテスト、マス計算等の取組で、学習の基礎力を定着させます。ICT機器を活用し、学習を充実させます。 【学習習慣づくり】 学習の構え(聴く姿勢、学習用具の準備)と家庭学習(ノーメディア学習)の習慣を身に付けさせます。 【きめ細やかな指導・支援】 学級や子どもの実態に即し、きめ細やかな指導・支援に努めます。 	<p>【学習習慣づくりのために家庭で取り組むこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭学習では、「家庭学習の手引き」をもとに、計画的に進めたり、ノーメディアで集中して学習したりすることを促します。 <目安>1・2年生:20分~、3年生:30分~、4年生:40分~、5年生:50分~、6年生:60分~ タブレットを活用した宿題等に取り組むことを促します。 学習用具をしっかりとそろえることを促したり、点検したりします。 	<p>【学校を支える地域づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア活動に進んで協力し、教育活動を充実させます。

